

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

ナースコール対応改善について取り組んだ。ナースコールの速やかな対応は異常の早期発見・早期対応、離床センサー患者の転倒予防ケアとなり看護の質評価の向上に繋がった。新人看護師教育では、技術修得率は平均 82.72%であった。技術修得率 90%を目標として OJT、OFFJT で支援し、質の高い看護育成に努めていく。

2) 病院経営に参画する

昨年度の病床利用率 63.4%、病床稼働率 73.9%であった。病床利用率 80%を目指し、有料個室や、空床利用を進める。また、令和 6 年診療報酬改定に伴い、認知症ケア、排泄ケアなどの加算漏れゼロを目指す。超過勤務は平均 3.57 時間/月で、新電子カルテシステム導入に伴い超過勤務が増加傾向となった。業務改善や、業務効率化のため HR ジョイント活用を推進することで超過勤務削減対策に取り組む。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

年間 108 件インシデント発生があり、薬剤関連では 94.4%が確認不足で発生した。6R指差し呼称推進し、確認不足によるインシデント削減に引き続き取り組んでいく。転倒・転落は前年度より 48%減少した。作成した「患者の療養環境を整えよう！25 か条」の定着で、転倒予防につながった。DESIGNR-d2 以上が 1 件、MDRPU の発生は 1 件であった。主に高齢者や糖尿病、透析患者であるため末梢循環障害や脆弱な皮膚のため全身状態と関連しながら皮膚トラブルの予防に取り組んでいく。

4) 専門職として能力開発に努める

認定看護管理者ファーストレベル 2 名参加できた。糖尿病看護認定看護師教育課程入学試験に 1 名合格した。令和6年度糖尿病看護認定看護師養成受講予定である。慢性心不全看護認定看護師資格取得に向け病棟の支援体制を整えていく。キャリアラダーにおいて、新人を含む 26 名中 20 名が、上位ラダーレベルへの申請し、19 名がキャリアアップできた。

5) 質の高い看護職を確保する

岡山医療センター附属看護助産学校、山陽学園大学より臨地実習の受け入れを実施した。実習後アンケートで学生が求める指導ができていないとの意見があった。CE を中心に学生指導スタッフと共有し丁寧な対応を心がけた。効果的な体験実習指導の実施で看護職員の確保に繋げる。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

リフレッシュ休暇を含む年次休暇取得数は平均 12.5 日取得できた。PNS®において、日勤業務でのペアは年間パートナーと組むことが難しかった。年間を通じてパートナーと一緒に看護実践ができるような勤務調整をする。ナイトNAとのタスクシフト・シェアにより、看護の質向上につながった。

2. 病床運営状況

表 1 令和 5 年度 病床運営状況

収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院 患者数(人)	退院 患者数(人)				
48	循環器内科 心臓血管外科 代謝・内分泌内科	132.6	534.3	30.4	6.5	63.4	73.9

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
3	92.4	7	75.8	8

3. 看護体制

表 2 令和 5 年度 看護体制(令和 5 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
31	PNS [®]	4:3

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 5 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 II

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		30.7	43.7	38.2	35.1	33.8	33.7	28.5	28.0	29.7	28.1	29.0	24.7

2)部署データ

表 4 心臓カテーテル検査・治療

	CAG・LVG	PCI・EVT	SG・PAG	BPA	その他
件数	412	177	418	124	36

〈心臓血管外科手術〉 手術件数 180 件/年

術式: CABG(開心術)、EVAR、静脈瘤血管内焼灼術、静脈瘤摘出術、
腹部大動脈人工血管置換術、血栓内膜摘除術、冠動脈・大動脈バイパス術、
心嚢ドレナージ、内シャント造設術など

表 5 インシデント件数 108 件/年

レベル0	レベル I	レベル II	レベル III a	レベル III b	レベル IV
7 件	48 件	42 件	8 件	0 件	0 件